



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大泉製作所  
コード番号 6618 URL <http://www.ohizumi-mfg.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 達夫  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 山崎 成樹

TEL 04-2953-9212

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,101	0.5	462	182.0	297	—	203	—
28年3月期第3四半期	9,056	1.7	164	593.4	△24	—	△93	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 277百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △121百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	25.69	25.66
28年3月期第3四半期	△12.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	8,346	1,258	15.1	155.56
28年3月期	7,708	893	11.6	113.14

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,257百万円 28年3月期 890百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,413	1.3	439	37.9	344	375.4	251	—	31.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	8,082,968 株	28年3月期	7,872,968 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	121 株	28年3月期	121 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	7,914,320 株	28年3月期3Q	7,556,476 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、当四半期）における当社グループを取り巻く経済情勢は、米国では内需が堅調に推移、緩やかな雇用者数の増加が続き個人消費も伸長いたしました。欧州では、英国のEU離脱が決定したものの、その後の進展がないこともあり、懸念された急速な景気悪化はみられませんでした。中国では、公共投資拡大の下支え効果により景気減速が一服、その他のアジア圏では不透明感が継続いたしました。

一方、国内では個人消費が緩やかに回復、設備投資も一部で回復がみられました。また、米国大統領選挙後の円安もあり、景気は緩やかに持ち直しました。

このような環境の下、当四半期における当社グループの売上高は、9,101百万円（前年同期は9,056百万円）と前年同期比0.5%の微増となりました。営業利益は462百万円（前年同期は164百万円）、経常利益は297百万円（前年同期は経常損失24百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は203百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失93百万円）となりました。

当四半期は、持続的な成長・発展を着実に進められるよう、成長戦略の推進・強化に取り組んでまいりました。また、継続した原価低減活動や高付加価値製品の創出、工場操業度の向上と生産計画に取り組み、盤石な生産体制構築へ向けた管理能力強化を推進した結果、営業利益は前年同期比298百万円の増加となりました。

営業外損益面では、為替変動の影響により為替損失が生じましたが、経常利益は想定を上回る増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,346百万円（前連結会計年度末比638百万円の増加）（前連結会計年度末比8.3%増）となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債につきましては7,087百万円（前連結会計年度末比273百万円の増加）（前連結会計年度末比4.0%増）となりました。これは主に借入金などの増加によるものであります。

なお、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益203百万円となりましたこと、また新株予約権付社債等の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ44百万円増加したこと等により、1,258百万円（前連結会計年度末比365百万円の増加）（前連結会計年度末比40.9%増）となりました。また、自己資本比率は15.1%（前連結会計年度末比3.5ポイント増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社を取り巻く事業環境については、自動車部品事業分野では、欧州・ASEAN向けの二次電池用センサーを中心に、日系・非日系の自動車部品メーカーからの新規引合いや受注が堅調であり、中長期においては当初予想数量を上回る見込みとなっております。空調・カスタム・エレメント部品事業分野につきましても、光通信分野の半導体レーザーやパワー半導体分野等の新規製品の受注拡大や不採算取引の終息等により収益は更に改善する見込みです。また、昨年度より取り組んでまいりました生産管理プロジェクトは、より精度を高め、対象を拡大することで、資材発注から納品までを管理できるシステムの充実を図り、引き続き間接部門の合理化についても進めてまいります。

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、為替変動や原材料の高騰等、不透明な状況となっております。従いまして、平成28年5月16日に公表しました通期の業績予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	671,977	1,128,129
受取手形及び売掛金(純額)	1,984,555	2,452,931
商品及び製品	770,670	728,728
仕掛品	863,816	778,617
原材料及び貯蔵品	815,217	744,599
その他	200,696	132,885
流動資産合計	5,306,933	5,965,891
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	862,669	808,179
その他(純額)	1,316,496	1,324,616
有形固定資産合計	2,179,165	2,132,795
無形固定資産	14,961	13,678
投資その他の資産	207,218	234,472
固定資産合計	2,401,345	2,380,946
資産合計	7,708,278	8,346,838
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	900,918	1,091,415
短期借入金	2,188,606	2,127,345
1年内返済予定の長期借入金	541,769	588,408
未払法人税等	38,965	76,689
その他	1,267,945	1,183,868
流動負債合計	4,938,205	5,067,727
固定負債		
長期借入金	1,107,988	1,320,401
退職給付に係る負債	610,570	611,948
資産除去債務	28,334	28,750
その他	129,840	59,147
固定負債合計	1,876,732	2,020,247
負債合計	6,814,938	7,087,975
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	932,431	976,753
資本剰余金	402,856	447,178
利益剰余金	△759,276	△555,962
自己株式	△40	△40
株主資本合計	575,970	867,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,814	8,723
退職給付に係る調整累計額	△152,888	△69,342
為替換算調整勘定	470,502	450,074
その他の包括利益累計額合計	314,798	389,455
新株予約権	2,571	1,479
純資産合計	893,340	1,258,862
負債純資産合計	7,708,278	8,346,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,056,777	9,101,438
売上原価	7,494,097	7,354,581
売上総利益	1,562,679	1,746,857
販売費及び一般管理費	1,398,594	1,284,087
営業利益	164,085	462,769
営業外収益		
受取利息	2,345	4,298
受取配当金	1,158	1,012
助成金収入	15,770	727
その他	8,480	11,956
営業外収益合計	27,755	17,994
営業外費用		
支払利息	92,680	86,960
新株発行費	14,596	4,448
手形売却損	3,924	1,660
為替差損	79,410	42,570
その他	26,170	47,898
営業外費用合計	216,782	183,538
経常利益又は経常損失(△)	△24,941	297,225
特別利益		
固定資産売却益	7,163	956
特別利益合計	7,163	956
特別損失		
固定資産除却損	302	6,042
特別損失合計	302	6,042
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,080	292,139
法人税、住民税及び事業税	71,801	79,368
法人税等調整額	3,227	9,457
法人税等合計	75,028	88,826
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93,109	203,313
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,109	203,313

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93,109	203,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△402	11,538
退職給付に係る調整額	41,923	83,546
為替換算調整勘定	△69,913	△20,427
その他の包括利益合計	△28,392	74,656
四半期包括利益	△121,501	277,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121,501	277,970
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の一部について、権利行使があり、資本金が44,322千円、資本準備金が44,322千円増加しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において普通株式の発行済株式数は、8,082,968株、資本金が976,753千円、資本準備金が447,178千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当連結グループは、温度センサ、電子部品等の製造販売及びこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

当連結グループは、温度センサ、電子部品等の製造販売及びこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使による増資)

当社は、平成29年1月1日から平成29年1月31日までに、第2回新株予約権の一部について権利行使がありました。当該権利行使の概要は次のとおりであります。

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| (1) 発行した株式の種類及び株式数 | 普通株式284,500株 |
| (2) 増加した資本金        | 62,731千円     |
| (3) 増加した資本準備金      | 62,731千円     |

これにより、平成29年1月31日現在の普通株式の発行済株式数は、8,367,468株、資本金は1,039,484千円、資本準備金は509,910千円となりました。